

霞城

第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsdf/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊 検索

隊区担当中隊

- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



No.703

KAJYŌ

第2中隊が任務完遂

「令和3年度第1次基礎となる 部隊の訓練検閲」を実施



約40kmを良好な状態で完歩

「第65回山形県縦断 駅伝競走大会」に協力



「郷土とともに」を掲げ真摯に協力

Contents

2 ページ

- 第2中隊が任務完遂
「令和3年度第1次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施
- 日々奮闘! 「自衛官候補生課程」

3 ページ

- 「第65回山形県縦断駅伝競走大会」に協力
- 限界突破!己に立ち向かえ!
「令和3年度師団レンジャー集合教育」

4 ページ

- コロナ対策・安全管理を万全に
「令和3年度春季演習場統一整備」に参加
- 「神町まつり」に協力
- 「令和3年度師団長感謝状贈呈式及び
駐屯地司令感謝状贈呈式」
- 各種表彰 ●定年退官者紹介 ●6月行事予定

2021

May 15

隊容検査



4月23日(金)から28日(水)の5夜6日にわたり、王城寺原演習場(宮城県)において「令和3年度第1次基礎となる部隊の訓練検閲」として第2中隊(中隊長・久我谷3佐)が、課目「行進に引き続く陣地防御に任ずる第一線普通科中隊の行動」について、検閲を受閲した。

防衛準備



訓練開始に先立ち、統裁官(連隊長・荒木1佐)は「情報と火力と障害を連携せよ」「生き残るための基本・基礎を確行せよ」「安全管理及び健康管理を万全にせよ」の3点を要望し、「全隊員が一丸となり、任務の完遂に邁進することを期待する」と訓示した。

受閲部隊は23日1700から徒步行進を開始し、各隊員は行進計画に基づき速度を維持しつつ、隊形の保持、手信号などを

第2中隊が任務完遂

「令和3年度第1次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施



迅速に対空射撃を実施



連隊長現地指導

防衛戦闘間、前方地域の戦況を継続的に把握するとともに、前進する敵を速やかに偵知し、障害と連携した砲迫火力を迅速に発揮して陣前に阻止した。また、敵航空機に対しては迅速に火力を指向し、効果的な対空射撃を実施するなど、それぞれが与えられた任務に対し最後まで諦めることなく取り組み、任務を完遂した。



砲迫火力を発揮

優秀隊員紹介

| | | | |
|--------|------|----|-------|
| ・中隊本部 | 火器陸曹 | 1曹 | 鈴木 尋 |
| ・第1小隊 | 機関銃手 | 3曹 | 丸子 大和 |
| ・第2小隊 | 小銃手 | 士長 | 岩野 桐真 |
| ・第3小隊 | 通信手 | 士長 | 高橋 和樹 |
| ・迫撃砲小隊 | 射撃陸曹 | 3曹 | 佐藤 圭太 |
| ・狙撃班 | 狙撃手 | 2曹 | 鈴木 新 |



対抗部隊と交戦

日々奮闘! 「自衛官候補生課程」



半長靴の締め具合や中敷のずれを確認

10km徒步行進訓練



全員が10kmを完歩



一生懸命に取り組む自衛官候補生

体力検定



射撃訓練

集中して狙いを定める



弾薬受領

新隊員教育隊(教育隊長・浅野2佐)が担任する「自衛官候補生課程」では、自衛官として必要な資質を養うとともに、各職種共通の基礎的な知識・技能を修得するため、自衛官候補生たちが日々訓練に励んでいる。

4月23日(金)、神町駐屯地営庭において、入隊後初となる「体力検定」を実施し現状を確認するとともに、それぞれの要領や着眼点を学び、記録を更新するための知識を深めた。30日(金)には神町駐屯地内において「10km徒步行進訓練」を行い、同期で励まし合いながら全員が完歩した。候補生は訓練を通じて、背のうや小銃の携行要領の見直しや、マメの出来る位置を掌握するなど、次の訓練に生かそうという向上心が各所で見られた。5月12日(水)には東根射場において射撃訓練(初級検定)が行われ、候補生たちは区隊長の指揮の下、確実な動作で射撃を行うとともに、大きな声で射撃号令を復命復唱し元氣溼刺とした姿で訓練に励んでいた。



銃を携行して全力疾走

6月には訓練評価、25km徒步行進訓練などが予定されており、29日(火)に行われる「修了式」まで各種訓練に励んでいく。



役員輸送及び通信連絡に従事

第65回 山形県縦断 駅伝競走大会 協力

昨年、新型コロナウイルスの影響により中止となった「第65回山形県縦断駅伝競走大会」が4月27日(火)から29日(木・祝)の3日間、山形県全域において開催され、連隊は協力隊長(本部管理中隊・齋藤2尉)以下25名、車両14両をもって協力した。

本大会は山形新聞、山形放送、山形陸上競技協会などが主催し、県内11地区のチームが3日間にわたって北の遊佐町からスタートし各市町村を経由して、南の米沢までを縦断

し、山形市でゴールする山形県の春の風物詩と言える大会(全29区間、総距離305.1km)で、連隊は昭和30年代から大会に協力している。

協力隊長は26日(月)、神町駐屯地において大会役員と対面式を行った後、開会式が行われる酒田市に移動した。同日、協力隊長が開会式に参加するとも

に、協力隊員は翌日からの協力準備を万全に行い、大会本番に備えた。協力隊は大会期間を通じて役員輸送、通信連絡等に

従事し大会運営に協力した。

また、連隊からは選手として2名が参加し、北村山チームの活躍に貢献し、県内を駆け抜けた。



大会2日目第20区を走る 本部管理中隊 長嶋2曹



丁寧に車両を整備



大会1日目第1区でスタートを切る 第3中隊 齋藤3曹 (左から2番目)

体力調整 3の③

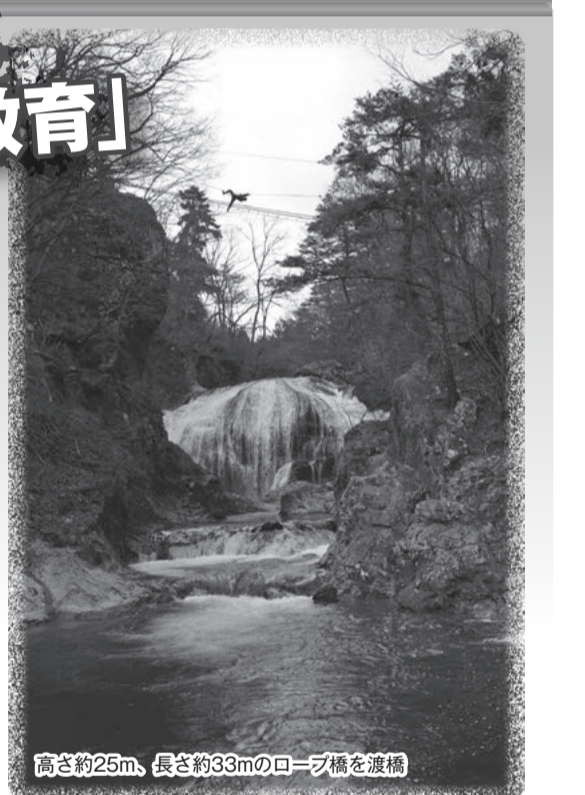
「令和3年度 師団 レンジャー集合教育」

限界突破！
己に立ち向かえ！



令和3年度師団レンジャー集合教育(担任官・連隊長 荒木1佐)は、資格検査を突破して精強戦士の証である「レンジャー」特技の取得を目指す30名が体力調整やロープ訓練などレンジャー隊員に必要な各種訓練に励んでいる。

4月14日(水)には東根市大字関山の滝において、山地潜入の課目が行われた。学生たちは、乱川溪谷の谷間、水面から高さ約25mに構成された長さ33mのロープ橋を、「レンジャー!!」と気迫溢れる気



高さ約25m、長さ約33mのロープ橋を渡橋



山地総合

勢で恐怖に打ち勝ち、モンキーやセーラーなどの要領で全員がロープ橋を渡橋した。

そのほかに、20日(火)21日(水)には、天童市山寺において山地総合訓練が、5月4日(火・祝)には天童市貫津沼において水路潜入が行われた。また6日(木)に神町駐屯地で特別な体力評価となる体力調整3の③として、小銃(約3kg)を携行した状態で、かがみ跳躍や障害通過、10マイル走が実施され、気温が上昇する厳しい環境下で、歯をくいしばり、汗を流しながら、全員が一生懸命に取り組んでいた。

今後学生は、約1ヶ月間にわたって行われる行動訓練に臨み、体力・気力の限界に挑戦し、6月11日(金)の「帰還式」において「レンジャーき章」の獲得を目指す。



水路潜入

コロナ対策・安全管理を万全に「令和3年度 春季演習場統一整備」に参加

6月行事予定

- 5日(土) ・天童高原634の松交流イベント協力
- 11日(金) ・令和3年度師団レンジャー集合教育帰還式
- 11日(金)～15日(火) ・令和3年度第1回予備自衛官招集訓練
- 29日(火) ・令和3年度自衛官候補生課程修了式

各種表彰

- 【第2施設団長より褒賞メダル】
- 令和3年度 春季演習場統一整備優秀隊員(器材操作手等としての功績) 第4中隊 3曹 三宅 智成
- 【令和3年度物品愛護強化期間】
- ポスターの部 最優秀賞 第4中隊 1曹 東海林 勝
- 標語の部 最優秀賞 本部管理中隊 1曹 澤田 明裕 「不稼働をなくして示そう 精強度」

優秀賞 重迫撃砲中隊 3曹 高島 拓弥 「官品を正しく使おう 国のもの」

優秀賞 第4中隊 士長 二藤部智輝 「常に持つ 物も心も なくさない」

【4月警衛勤務優秀らっぱ手】

- ・第3中隊 士長 荒木 陸 (2日上番)
- ・第1中隊 3曹 田仲 優斗 (6日上番)
- ・重迫撃砲中隊 1士 橋本 未旬 (8日上番)
- ・第3中隊 3曹 嶋之木唯悦 (19日上番)
- ・本部管理中隊 士長 長谷川武尊 (20日上番)

永年の勤務、お疲れ様でした。

退官者紹介



・重迫撃砲中隊 菊地 篤 曹長 4月25日付
・大江町在住



・第1中隊 本間 明 1曹 5月17日付
・東根市在住



横隊になり作業効率を向上

優秀隊員紹介

・第4中隊 3曹 三宅 智成 (器材操作手等としての功績)

5月11日(火)から17日(月)までの間、王城寺原演習場において実施された「春季演習場統一整備」に連隊整備隊長(連隊長・荒木1佐)以下約350名



距離間隔を保ち安全に作業を行う

「神町まつり」に協力



賑わいを見せた自衛隊ブース

5月3日(月・祝)、若木山特設ステージ(東根市)において神町まつり実行委員会が主催する「神町まつり」に協力した。

連隊からは第3中隊の2名が参加し、車両展示(軽装甲機動車)を行った。隊員たちは、来場者に軽装甲機動車についての説明を実施したほか、車両の上などで子供たちと一緒に記念写真を撮る等、地域住民等の自衛隊の活動に対する理解の促進と親近感の醸成を図った。

が参加し、演習場の機能維持・向上のための整備を行った。10日(月)には駐屯地において連隊編成完結式を行い、連隊整備隊長は「万全な準備を基とし、任務を完遂せよ」「コロナ対策を万全に実施せよ」「安全管理」の3点を要望し、「作業工程管理を適切に実施し、新型コロナウイルス感染拡大防止を図りつつ、安全管理を徹底し、1件の事故もなく任務を達成せよ」と訓示した。

11日(火)からは演習場において、連隊の担任区分であるD・2弾着地の整備(担当:第1・2・3及び重迫撃砲中隊)、演習場内道路の整備(担当:第1・2・3・4中隊)、各射場の整備(担当:本部管理中隊)、訓練地域の伐開(担当:第4中隊)を実施した。

整備実施間、隊員たちは安全距離を十分に確保しつつ、互いに声を掛け合いながら草刈機やチェーンソーを操作するなど安全管理を徹底していた。また刈り終えた草は隊員が横隊になり一気に集積するなど全員が一致団結して効率的に作業に取り組んでいた。

連隊整備隊長は天候にも恵まれ、計画より1日早い15日(土)に整備を概成させ、17日(月)には担任官(第2施設団長・圓林陸将補)の点検を受け、1件の事故もなく任務を遂行した。



一致団結し大木を運搬



慎重に伐開

「令和3年度 師団長感謝状贈呈式及び駐屯地司令感謝状贈呈式」



第20普通科連隊OB会副会長 大沼 信廣様

4月18日(日)、司令部第2・3会議室において「令和3年度師団長感謝状贈呈式及び駐屯地司令感謝状贈呈式」が行われ、連隊長(荒木1佐)が陪席した。

師団長感謝状贈呈式においては、平素から我が国の防衛と自衛隊の使命に深い御理解を示され、特に第6師団及び第20普通科連隊の隊務運営及び隊員の士気高揚に大きく寄与された、第20普通科連隊協力団体「翔山会」副会長 小嶋信一様に対し、師団長(鬼頭陸将)から感謝状が贈呈された。また、5月19日(水)には連隊長(師団長代理)がトヨタカローラ山形株式会社様を訪問し、「翔山会」監事 鈴木肇子様に感謝状を手渡し



第20普通科連隊協力団体「翔山会」副会長 小嶋 信一様



東北方面隊オピニオンリーダー 長谷山 裕様

また、駐屯地司令感謝状贈呈式においては、神町駐屯地及び第20普通科連隊の各種行事に対し積極的に参加し、隊員との強い絆を築くなど部隊に対しての多くの御協力により駐屯地の発展に貢献された、第20普通科連隊OB会副会長大沼信廣様に対し、駐屯地司令(叶陸将補)から感謝状が贈呈された。また、5月14日(金)には連隊長(駐屯地司令代理)が有会社社バリュー・クリエーション様を訪問し、東北方面隊オピニオンリーダー(平成29年に連隊が推薦)長谷山裕様に感謝状を手渡した。

連隊長は4名の連隊に対する御理解・御協力に深甚なる感謝の意を表した。



第20普通科連隊協力団体「翔山会」監事 鈴木 肇子様